

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

5月22日

昨日は、定規、ものさし、コンパスを使うことができましたか。

コンパスは円をかくだけではなく、同じ長さを測りとり、同じ長さに分けることにも使えます。

今週（こんしゅう）は、今まで学んできたことが、実施（じっさい）に使えるか、自分でためしてみる1週間（しゅうかん）にしましょう。パート5（ファイブ）です。

今日は、5分間で何文字書けるかできるかにチャレンジです。教科書の文章を見て書き写します。見て書き写すことを視写（ししゃ）と言います。ひらがなはひらがなで、漢字は漢字で書きます。

「、」や「。」があれば「、」や「。」を打ちます。書いてあるとおりに書き写します。

「、」や「。」、かぎ「」なども1文字に数えることとします。5分たったらとちゅうでもかくのをやめて何文字かくことができたか数えて「◇月△日 5分間で〇〇文字」と書いておきましょう。

はやく書くこつ 見て（読んで）言葉のまとまりを覚（おぼ）え、ノートに書く、また、言葉のまとまりを覚えノートに書く。「、」や「。」のところまで覚えることができるのもっとはやくなるかもしれません。

教科書からチャレンジする文章を見つけ取り組みましょう。見つけることのできない場合は、先日音読した教科書のお話の視写にチャレンジ。5分間集中してチャレンジしてみましょう。

これまでに「できるかな」で言葉のまとまり「、」「。」を意識して音読に取り組んできたことが、視写に役立ったことでしょう。

こつこつ、学習そして身につけたことは、使い方によって多の学習にも役に立てることができるのです。

5月25日

カレンダーを見ると、1月、2月、3月・・・と数字と漢字で月の名前があらわされています。今年は閏年（うるうどし）にあたり、2月が29日までありました。

日本では昔、月の動きをもとにカレンダーがつくられていました。カレンダーではなく「暦（こよみ）」ですかね。

今日は、昔の伝統的（でんとうてき）な月の名前にチャレンジしてみましょう。

画数が多い漢字があったり、読み方が難しい漢字があったり、2月のように2通りの漢字の書き表し方があったり・・・1年間は12か月です。12の月にチャレンジ

伝統的な月の名前

1月：睦月（むつき） 2月：如月（きさらぎ） 衣更着（きさらぎ）
3月：弥生（やよい） 4月：卯月（うづき） 5月：皀月（さつき）
6月：水無月（みなづき） 7月：文月（ふづき） 8月：葉月（はづき）
9月：長月（ながつき） 10月：神無月（かんなづき）
11月：霜月（しもつき） 12月：師走（しわす）

【豆知識】

この暦を使っていた時には、閏月（うるうづき）というのがあり、たとえば、3月の後にもう一度3月があるように、同じ月が2回続けてある年があったということです。